



びわ湖

第9号

第1回女性委員会開催される!!



平成20年12月23日(火)12時～13時
浅野寿夫宅にて

＜女性が世の中を変えていく＞

現在の世の中は男性社会で、男が中心になって世の中を動かしているように見えますが、実は違うのです。昔から男性を動かし、世の中を動かしているのは女性なのです。ですから日本の中心の神様「天照大神」は女性の神様なのです。男を善くするも悪くするも女性の力なのです。世の中を善くするも悪くするも女性次第なのです。

では、何をしたら良いか？それは簡単なことです。ご主人を褒めて気持ち良く働かせることです。そうして子供に「お父さんは素晴らしいね、お父さんのお蔭で生活が出来て嬉しいね」と伝え、お父さんを尊敬させることです。男は単純です、女性に褒められると一生懸命働くのです。子供に尊敬されると家庭をしっかり守っていくのです。

しかし今の世の中は、男女同権だからと言って、ご主人の悪口を子供の前でも平気で言ってしまう。「お父さんみたいになりたくなかったら一生懸命勉強しなさい」と、父親を見下げて子供を煽ってしまう。子供はお母さんの言うことを正しいと思うから、お母さんと一緒になってお父さんをダメ人間として、汚いものでも見るかのように父親を軽蔑してしまう。そんな家庭ではお父さんの居場所がありません。心安ませるはずの家庭が、帰るのが嫌になってしまいます。子供が父親を尊敬しなくなります。

今の世の中が荒れているのは、人を敬う、尊敬する心がなくなってしまったからです。人の意見を聞かず自分勝手な方向へ進んでしまうから世の中が荒れてしまうのであり、敬う心がなければ神も仏もありません。父親も母親もありません。皆自分と同じレベルにしか考えられないから、勝手なことをしてしまうのです。

荒れた世の中を直していくには、人を敬う、尊敬する心を取り戻さなければならないのです。敬う、尊敬する心からは、素直な心が生まれてきます。素直な心からは、真っ直ぐに正しい方向へ進む人間を作り上げていくことが出来るのです。

女性委員会委員長 山田 綾乃

女性委員会発足の懇親会開催される



山田委員長



浅野副委員長



細川さん

滋賀県倫理法人会に今年度から初めて設置された女性委員会、皆様はご存知でしたでしょうか？

山田綾乃 女性委員会委員長から、今回は試験的に大津会員と県三役及び各単会会長の奥様へ呼びかけられました。その記念すべき会は、12月23日天皇誕生日に南郷・袴腰山麓の浅野照美 女性委員会副委員長宅にて、中村治雄 県会長など男性も含め総勢15名（うち女性7名）が参加されました。



上野さん



青山さん



野々山さん



河村さん

びわこ湖南倫理法人会「朝礼研修」

朝礼研修を受講して

今回の朝礼研修では、朝礼の意義や基本動作について学びましたが、自分自身が経験してきたこれまでの朝礼を振り返るといろいろと考えさせられるところがありました。これまでは朝礼は社員全体で集まるので、社長や経営幹部の方の報告を聞くとといった事務連絡の場であるという捉え方をしていました。この考え方であると企業活動の進むべき方向の理解は出来て意思の統一は図れますが、志気の高揚や企業活動の場で求められる基本動作は身につかず覇気のない朝礼になるという気がします。朝礼の意義を単なる事務連絡の場から基本動作の習得やモラルアップ、チームワークの向上を図るといった考え方を社員全員が持つことで活気のある朝礼に変わっていくと感じました。



研修では初対面の方と活力朝礼の実習を行いました。初めはぎこちないところがあつたものの全員が同じ目標に取り組んでいて、おのずと自然な形で会話をすることが出来たので、これも朝礼の効果の一つであると感じました。今回の研修で学んだことを明日から一気に行うことは難しいと思いますが、挨拶など基本的なところから一つずつ取り入れて活気のある朝礼を行うようにしていきたいです。

社会保険労務士法人 中嶋事務所
北川 寿

大津倫理法人会「経営者の集い」高島市で開催!

11月27日高島市、今津で倫理法人会経営者の集いが開催されました。今津在住ですの

で、人集めに苦労しました。講師の先生は、淡路島の方、事業継承と倫理経営と題して行われました。ご苦労されて今に、至られ、心底から出てくる言葉からは、経営者としての心構え、経営論理すべてに、体験された人にしかわからない迫力を感じました。

当たり前のことがなかなか出来ませんが、即、即、即と、すぐにやる。このことが好感をもてますし、私自身の、思っていることと一致しました。

倫理は、誰にでもわかる当たり前の事を言っていますが、思ったことを即、行動する。このことが、難しいと思います。事は、思っているだけでは出来ません。実行してこそ、出来ます、動きます。まず、思って、考えて、すぐ行動しましょう。このことを、心して日々過ごしたいと思



法人レクチャラー 原節子氏

大津倫理法人会 幹事 大西 明弘

びわこ湖北倫理法人会「経営者の集い」



法人レクチャラー 山田憲一氏

びわこ湖北倫理法人会では、11月19日のモーニングセミナーに株式会社山田自動車代表取締役で静岡県倫理法人会会長の山田憲一氏をお迎えし講演いただきました。

冒頭では、静岡県倫理法人会の活動経験・状況をお話くださいました。特に、モーニングセミナーをもっと活性化するために、一人が一人を連れてくれば、どんどん参加者は増えてゆく、モーニングセミナーを100人でやろう。と取り組まれたエピソードなどお話しいただき、「湖北のモーニングセミナーも、もっと盛り上げよう」と、とても良い刺激を頂きました。講演は「我が事業継承体験」というテーマでお話頂きました。山田氏は25歳でお父様の会社に入られ、その後ご自分で自動車のリース販売に取り組み、数年で売上を何倍にも上げられ事業を拡大されましたが、その後、数億円の借金を抱えて頓挫しました。その際にお父様は、何も言わずに、その借金の尻拭いをされました。山田氏はその時に、どんどん事業を拡大し、お父様よりも会社を大きくした、父親を超えたと思っていたが、それはとんでもない思い上がりで、思い違いであつたと気づかれました。

お父様の晩年、お亡くなりになった後も、周囲の方々からのお父様のお話を耳にされ、ご自分が父親として事業継承を考えるにあたって、益々、お父様の偉大さを感じ入るようになり、「最も大切な、わが命の根元は両親である」に深く思い至るようになりました。富士倫理学苑の恩の遡及では、号泣が止まらなかったそうです。葉の13条中に、「ほんとうに、父を敬し、母を愛する純情の子でなければ、世に残るような大業を成し遂げることはできない。」とありますが、私が感じた山田氏は、ほんとうに父を敬する純情の子でありました。省みて、私自身、山田氏にお勧め頂いた、「父の十徳」を書きましたが、まだまだ、経験、実践がたりないようです。これから益々、倫理法人会での学びを実践していきたいと思

びわこ湖北倫理法人会 広報委員 山岡 朗

彦根市倫理法人会「経営者の集い」

12月 経営者の集い・モーニングセミナー報告

講師 三浦康彦 法人レクチャー・西尾市倫理法人会 会長

(株)エムアイシーグループ 代表取締役

経営者の集いテーマ『倫理で商売繁盛』
MSテーマ『運をよくする経営』

(株)エムアイシーグループ様は創業103年の老舗印刷企業。三浦レクチャーの祖父によって三浦石版として創業され、戦後昭和23年、父の代に合資会社 三浦印刷所と改組。平成3年、三浦社長43歳の時に株式会社化され、社名もエムアイシーグループ（MIURAのエム、アイディアのアイ）として再スタートされた。103年も続いている理由を三浦社長は一にも二にも祖父の信用・父の信用を挙げられる。父の代になって20数年も立っているのに、まだ「三浦石版」さんと呼ばれていた由。先代から受け継いでいるものとして、①支払日には涼しい顔をしてサッと支払うこと ②来客に美味しいお茶を出すことの二点を継続されている。もちろん購入するときには正しく価格交渉をして、支払いはきちっとする事を励行実践。美味しいお茶を出すという事については、40年前に美味しいお茶を出して頂いたと、お茶の味をも覚えて居られるお客様が有ったくらいで、先々代からの美味しいお茶の出し方・お客様のおもてなしについても徹底して継承されている。



三浦康彦 法人レクチャー

本年9月のリーマンショック以来、トヨタの下請け企業が集積している西尾地域の景気は急速に落ち込んでいる。が、三浦社長は過去、景況感が底の時に大型投資を再々行って来られ、これが景気上昇期に悉くヒット。倫理経営に徹していると、このように投資が 適切にフィットしてうまく景気上昇に乗ることが出来るものですねと。社員さん約100名のうち、若手社員を対象に、社内モーニングセミナーも実施。早朝7:00からは車道側溝の清掃も実施中で、「積善の家には必ず余慶有り、積不全の家には必ず*余殃(よおう)有り」と言われるごとく、良い波動の中に身を置かれるよう努められている様子がよく分った。

「新入 社員初任給の儀式」の採用、倫理17000の認定も受けられ、「心が安らいでいると体はいつも生き生きとしている」「笑顔こそ人生の花なり」と、ただひたすらに倫理経営に徹されている事が企業繁栄長寿の秘訣と実感した。*余殃(よおう):祖先の悪事の報いとして子孫にまでも及ぶ災難。

彦根市倫理法人会 会長 日下英治

2009年度スローガン

日本創生 目指せ10万

やるぞ やるぞ やるぞ!

びわこ湖東倫理法人会「経営者の集い」



中崎行雄 石川県倫理法人会会長

12月3日経営者の集い

「倫理は繁栄の土台」

日本創生は目を覆いたくなる現状からして一人一人が倫理（道徳）を学び自立して正しい行動を起こすこと以外にないと思う。日本（世界）を救うのは倫理研究所、倫理法人会しかないと心から思っています。会社の発展は人の成長の総和である。生きる意味喜びの人生とは、今まで出来なかった事を次々とできる様にすることや、知らなかった事をどんどん知っていき、自分が成長していると感じる事だと思っています。『子曰く、位無を患えず、立つ所以を患う。己を知る莫きを患えず、知らざるべき為すを求むなり』地位の無いのを気にするよりも、なぜ地位が得られないかを考えるがよい。自分を認めてくれないことを気にするよりも、どうすれば認めてくれるのかを考えて努力することだ。人生ウルトラCはあり得ません、こつこつ小さいことの努力、積み重ねです。

1、縁尋機妙（えんじんきみょう）

良い縁がさらに良い縁を尋ねて行く仕方が実に機妙である

2、多逢聖因（たほうしょういん）

良い人と交わっていると、気付かないうちに、良い結果に恵まれる。

12月4日モーニングセミナー

『MS日本一になるまでの方法』

1・倫理法人会の商品モーニングセミナーを磨き上げる、レベルアップ。

2・大きな元気な挨拶、凛とした雰囲気作り=ゲストにアッと（びっくり）言わせる場を

3・一分間スピーチ（役員）やハイの練習を何度も何度もくりかえし元気なMSにする。

4・MS参加者全員にはがきを書き次回も来て頂くように仕掛けました。

5・まず会長がそして役員さん皆が本気で取り組むことが大事。情熱を…

6・会長の思いをはがきで役員皆さんに訴え続け、協力体制を得て活性化しました。

7・普及は宝=会長がまずあきらめず一生懸命に頑張っていれば必ず道は開けますよ。

会員企業訪問

株式会社カントリー自動車様

お店の入り口で迎えてくれるのは「本日のご来店」という、来店予定者の名前が書かれた黒いボードだ。当然のように明るい挨拶の声が掛けられる。机は事務所机ではなくお洒落なテーブルで、飲み物のメニューが置かれており、すかさず「飲み物は何になさいますか？」との声。置いてある本もインテリア雑誌である。なんと心地良い空間だろう。お客様にくつろいでもらい、何でも気楽に話せる雰囲気作りの工夫がなされている。

朝は8時から社長も含めて全員で掃除だ。9時になると活力朝礼が始まる。「職場の教養」の輪読、一人が感想を述べる。この朝礼を始めた13年前には、感想を言うのが嫌で辞められた方も出て、大変苦勞をしたとの社長談。次にスピーチだ。スピーチは事前にその日の担当が決められていて、全員に回るようになっている。そして挨拶実習、「ハイ」の実習、その日の来店者確認、名札確認、ラジオ



(株)カントリー自動車 代表取締役 河村益孝氏

体操と続く。

以前、会社で朝礼を始められた当時は社長や幹部だけがスピーチをしていたそうで、続けているうちに「今日はありません」という日も出てきて、河村社長には「このままではいけない、何か良い方法はないものか」という危機感が・・・そんな時に「職場の教養」と出会われ、これだ!と思ったそうだ。最近では「職場の教養」の輪読によって、社員の方の積極性が



養われてきたと、あの独特の笑顔で語られました。

2008年12月号の社内報「カントリーロード」には、島根県に納めた車が岡山～広島間でオーバーヒートし、それを現地まで引取りに行かれたエピソードが載っている。お客様が「知らないところで修理してもらうのは嫌だ、費用がかかってもカントリーさんに引き取りに来て欲しい」と。そうは言われても普通はその近くのディーラーや業者に依頼するだろう。また引き取りに向かう車は朝3時の出発でしたが、その窓ガラスにビニール袋が・・・中身はガムとチョコとメッセージでした。「遠方までご苦勞様です。眠くなったらガムを、小腹が空いたらチョコを食べて下さい」

経営理念の中に「社員とその家族・顧客・取引企業と共に歩み、一人一人の声を結集して信頼される会社を創り、皆の暮らしを良くします」とあります。まさにこれを実践され体現するかのようなエピソードでした。



「本日のご来店」のWelcome Board

広報委員長 濱名 和彦

会社概要

創 業 昭和50年12月 (1975年)
会社設立 昭和50年 9月 (1982年) 従業員24名
業務内容 中古車の買い取り・販売・修理、新車の販売・自動車損害保険代理店
輸出入 その他上記に関わる一切の業務

株式会社カントリー自動車 本社 〒520-0106 大津市唐崎1丁目23番7号
支店 カントリー守山店 カントリー草津店